

2009-10年度 国際ロータリー

ロータリーの未来はあなたの手に

R I 会長 ジョン・ケニー

9月は新世代のための月間です。

国際ロータリー 第2580地区
2009-10年度 ガバナー 多田 宏



寛容の心で奉仕をしよう

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第38代クラブ会長 比留間 一康

本日の例会
卓話 (財)ボーイスカウト日本連盟
教育本部コミッショナー

第1821回
例会
2009. 9. 30

次回例会案内 【10月7日(水)】
全員クラブ協議会

第1820回例会報告 (2009年9月16日) 司会 齊藤 孝喜 副SAA (会場運営副委員長)

点 鐘 (比留間 一康 会長)

斉 唱 奉仕の理想

来客紹介 (比留間 一康 会長)

- ゲスト
下平 さやか 様 (卓話講師)
林 英 様 (米山奨学生)



会務報告 (比留間 一康 会長)

- 国際ロータリーより
「人類のために活動しますV」のCDが届いています。
- ロータリー財団地域セミナー (Zone1.2.3) 開催案内
・11月17日(火) 登録 9:00~10:00
・ホテル グランパシフィック
- 地区バギオ基金委員会の卓話依頼 (卓話させていただける予定がありまらへ 報 下さいとの事)
- 「社会奉仕委員会についてのお尋ね」が届いています。
- 商工会より
納涼花火大会最終実行委員会の案内
10月9日(金) 午後7時~
- 伊奈平苑より
ホームだより「いなだいら」を頂きました。

幹事報告 (比留間 孝司 幹事)

- 例会場変更及び例会臨時変更の案内
福生中央RC
9月16日より例会場 料亭幸楽園 (旧幸楽園・本館)
9月30日→福生RCとの合同夜間例会
- 前々回の全員クラブ協議会でお諮りし、クラブ予算で購入した冊子「わかりやすいロータリー」を、お手元に配布いたしましたので、活用して下さい

幹事報告続き...

- 例会臨時変更
・福生RC
9月30日→福生中央RCとの合同夜間例会
10月14日→ガバナー公式訪問
クラブ協議会15:00~ 例会16:30~
- ・秋川RC
9月17日→5時点鐘 森林村
24日→26日「R杯秋川流域少年野球大

出席報告 (宮崎 茂夫 会場運営委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
35名	25名	78.79%	なし

- メイクアップ
小野寺 一昭 会員 (職業奉仕委員長会)
- 出席免除会員
渡辺 俊晴 会員 比留間 昭三 会員



「女性の視点 報道の職場」
講師 テレビ朝日アナウンサー 下平さやか様

ごあいさつ

米山奨学生 林 英 様
いつも応援していただきありがとうございます。
里山森林保護活動や国立環境研究所の活動に参加して、充実した夏休みを過ごすことができました。



○武蔵村山市民まつり実行委員会委員 峯岸 一郎 会員

デエダラまつりに運行される「デエダラポッチ山車」の提灯広告にご協力願います。
協賛金額は、5,000円です。ご協力いただける方は、9月末日までに事務局へお願いします。

卓 話

「女性の視点 報道の職場」 講師:テレビ朝日アナウンサー 下平 さやか 様

テレビ朝日の人気アナウンサー、下平さやかさんをお招きし、「女性の視点 報道の職場」と題して卓話を拝聴しました。日ごろテレビを見ているだけでは分からないことや、アナウンサーの悩み等興味深い話ばかりで、あっという間の35分間でした。卓話の要旨は次のとおりです。

○アナウンサーは無口のほうがいい？

大学卒業当時は、就職超氷河期であった。そんな中で受けたテレビ朝日の採用試験では、カメラの前での原稿読みや、グループディスカッションが行われた。グループディスカッションでは、積極的に発言する人達がいる中で、劣等生の私は「二言」しか喋れず、「ああ、これは落ちたな」と思った。受験生の中にもう一人、「一言」しか喋れない私よりも劣等生がいたので、私は「ぶり」ではないと思っていて、蓋を開けてみたら、なぜか、「一言」しか喋れなかった人と「二言」しか喋れなかった私が、ともに採用されていた。

入社してから分かったことだが、私が受験したとき、テレビ朝日は「色の付いていない人を採用する年」で「勉強をしたことのない人を探りましょう」という方針であった。このため、何もできない人間が選ばれるという幸運な結果になったのである。

○ラブホテルに泊まったことも？

男性アナは入社して1年目に、甲子園（高校野球取材）に2週間出張して、アルプスリポートを担当するのがお決まりのコースだった。私は、高校時代に部活でソフトをやリ、多少野球ルールも分かっていたので、是非自分を甲子園に行かせてほしいと上司に直訴し、アルプスリポートを担当させてもらうことになった。

この時期、甲子園の周りは宿が一杯で、この仕事は男性が担当していたこともあり、テレビ朝日は甲子園球場近くのラブホテルを借りて泊まるのが恒例であった。出かける前に、宿はラブホテルだけど大丈夫と言われ、厳しい洗礼も受けたが、自分のやりたい仕事だったので、やり遂げた。今振り返ってみて、一番キラキラした思い出、一番やりがいのある仕事であった。アナウンサーとして、男性と女性が一緒に仕事をする中で、女性が特別の扱いを受けることは殆どないと感じている。

○1日のタイムスケジュール

今、私が担当しているのは、「やじうまプラス」という朝の番組（月～金の午前6時から8時までの2時間）である。この番組を担当しているときのタイムスケジュールは、次のとおりで、普通の人より約半日ずれている感じである。

午前2時：起床、入浴 午前2時30分：自宅出発（会社の車で） 午前3時：出社、メイク、衣装は借用
午前4時：全体の打合せ、新聞記事紹介のために一般

紙・スポーツ紙計12紙に目を通して情報を理解、コメンテーターに質問するための調べ物をする等、放送までのこの時間が本当の戦いだと感じている。
午前6時：放送開始（準備でかなり疲れており、仕事が終わったような感じでカメラの前に立つ）、この2時間で詰め込んだものを全部披露し、コメンテーターの一番良いところを出してもらおうようにする。
午前8時：番組終了、反省会（通常15分間）、翌日の打合せ 午前10時：一段落 午前11時：退社（通常はお昼過ぎに）プライベートタイム 午後8時：就寝

○理想と現実の間で

ニュースを扱っていると、本来伝えるべきだと思うことと、視聴率を上げるという思いの間で、どうバランスをとればよいのかと悩むことが多い。社会に対して提案したり、自分が知ってもらいたいと思うことを紹介したいと思うが、一方視聴率も非常に大切に、沢山の方が見ているということだから、これを軽視するわけにはいかない。番組の評価においても、スポンサーのためにも、数字はしっかり確保したいところである。ここあたりが、テレビマンの悩むところではないかと思う。ただ、営業（商売）一辺倒にならないようにと、良心をもって臨んでいるつもりであるが、理想の形とはかけ離れているのかなと思うこともある。

○男女の思考の違い

番組を担当している中で、男性は社会的にどう思われるとか、他の人にどう評価されるとか、そういう視点で物事を決めることが多い。女性は、子宮で考えるといわれるように、自分の好き嫌いがはっきりしているもので、社会的にこれが正しい、というような経緯で決まったことに結構疑問を感じる。それよりも、自分がどうしたいか、あなたの感情がどうなのかと、少し論理的ではない（感情的な）部分をだしたほうが、テレビという仕事では面白くなるのではないかと感じている。いろいろなことを、自分の心に尋ねながら、決めていけば楽しくなるのではないかなと、それが女性的な視点ではないかと感じている。



ニコニコBOX (網代 稔 親睦副委員長)

- ☀ 比留間一康会長⇒下平さやか様ようこそいらっしやいました。本日の卓話よろしくお願ひします。
- ☀ 比留間孝司幹事⇒下平さやかさん、本日は本当にどうもありがとうございます！！色々な意味で感謝、感謝です！！
- *林さん、今日はようこそ。

- ☀ 峯岸一郎会員⇒下平さやか様ようこそ武蔵村山RCへ。卓話楽しみにしておりました。ツーショット記念写真ありがとうございます！石井源一郎先輩ボイスカウトグッズいただきありがとうございました。

◆ 今回計 23,000円 累計531,000円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータークラブ
◎ 会長 比留間 一康 ◎ 幹事 比留間 孝司
○ 副会長 峯岸 一郎 ○ 副幹事 野島 征
□ 会報雑誌委員長 原田 友義 副委員長 倉内 淳
委員 高山 晃一 波多野 晃夫 北島 栄

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp